



2020年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月14日

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社
 コード番号 1434 URL <https://www.jesco.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 光子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理室長 (氏名) 二戸 慎也

TEL 03-6382-7123

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	1,851	20.6	115		104		103	
2019年8月期第1四半期	2,332	70.5	22		14		13	

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 96百万円 (%) 2019年8月期第1四半期 28百万円 (463.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	15.69	
2019年8月期第1四半期	2.06	2.04

(注) 2020年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	9,092	3,265	32.5
2019年8月期	9,004	3,433	34.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 2,953百万円 2019年8月期 3,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		0.00		11.00	11.00
2020年8月期					
2020年8月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.6	250		230		180		27.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	6,577,900 株	2019年8月期	6,575,600 株
期末自己株式数	2020年8月期1Q	4,845 株	2019年8月期	4,845 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	6,570,780 株	2019年8月期1Q	6,447,855 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年9月1日～2019年11月30日)においては、米中間の通商問題の長期化、中東・アジア地域等における地政学的リスクへの懸念等、海外経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、わが国経済は、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害の影響等、同様に不透明な状況ではあるものの、企業を取り巻く環境は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境と見通しの中、当社グループは、国内市場においては、長年に渡り積み上げてきた技術力と顧客からの信用力を活かし、既存事業領域における受注拡大、新規事業領域・拠点等での事業の拡充を進めつつ、引き続きコスト削減に努めてまいります。また、海外市場においては、堅調な経済成長を続けるベトナムにおける建設投資需要を積極的に取り込みつつ、引き続きODA案件工事等も含めた受注拡大を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高18億51百万円(前年同四半期比20.6%減)、営業損失1億15百万円(前年同四半期は営業利益22百万円)、経常損失1億4百万円(前年同四半期は経常利益14百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億3百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

a 国内EPC事業

国内EPC事業においては、JESCO株式会社において、公共システム関連及び電気設備関連工事を中心に、工期の遅延による収益減、追加及び変更工事発生に伴う当四半期における原価先行の影響等により減収減益となりました。一方、JESCO SUGAYA株式会社においては、前年同四半期とほぼ同水準で好調に推移しました。この結果、当事業全体としては減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高11億22百万円(前年同四半期比24.5%減)、セグメント損失1億36百万円(前年同四半期はセグメント損失5百万円)となりました。

b アセアンEPC事業

アセアンEPC事業においては、JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANYにおいて、電気を中心に設計業務の出来高が増加したものの、工事案件が大幅に減少したことにより減収となりました。また、JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYにおいては、ホーチミン市の大型集合住宅の電気設備等の工事において、工期の遅延及び継続的な競争激化の影響等により減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高6億97百万円(前年同四半期比14.3%減)、セグメント利益5百万円(同56.8%減)となりました。

c 不動産事業

不動産事業においては、若干の減収となりましたが、引き続き賃貸管理収入により安定した収益事業となっております。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高32百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント利益19百万円(同31.0%減)となりました。

※ EPC = Engineering (設計)、Procurement (調達)、Construction (建設) の略

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、55億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円の増加となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が3億55百万円減少し、未成工事支出金が4億16百万円増加したこと等によるものであります。当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、35億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円の減少となりました。これは、投資その他の資産が16百万円減少したこと等によるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、90億92百万円となり、87百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、38億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億37百万円の増加となりました。これは短期借入金が3億68百万円、未成工事受入金が1億35百万円増加し、支払手形・工事未払金等が2億5百万円減少したこと等によるものであります。当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、19億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円の増加となりました。これは、リース債務が12百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、58億26百万円となり、2億55百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、32億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円の減少となりました。これは利益剰余金が1億75百万円減少したこと等によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の34.7%から当第1四半期連結会計期間末は32.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の通期連結業績予想につきましては、2019年10月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,831	1,620,241
受取手形・完成工事未収入金等	3,009,923	2,654,511
未成工事支出金	586,852	1,003,008
原材料及び貯蔵品	24,927	24,043
その他	287,939	360,817
貸倒引当金	△156,648	△158,498
流動資産合計	5,392,826	5,504,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,705,119	1,703,020
減価償却累計額	△651,966	△664,641
建物及び構築物(純額)	1,053,152	1,038,378
機械装置及び運搬具	96,511	96,508
減価償却累計額	△86,561	△87,012
機械装置及び運搬具(純額)	9,949	9,495
土地	2,199,981	2,199,981
リース資産	191,176	205,481
減価償却累計額	△185,222	△187,785
リース資産(純額)	5,953	17,695
建設仮勘定	1,566	—
その他	238,252	238,628
減価償却累計額	△219,106	△219,927
その他(純額)	19,145	18,701
有形固定資産合計	3,289,749	3,284,253
無形固定資産		
のれん	10,377	9,821
その他	21,120	19,962
無形固定資産合計	31,498	29,784
投資その他の資産		
投資有価証券	132,479	139,493
繰延税金資産	52,536	55,030
その他	128,510	102,941
貸倒引当金	△31,691	△31,691
投資その他の資産合計	281,834	265,773
固定資産合計	3,603,082	3,579,812
繰延資産		
社債発行費	9,081	8,811
繰延資産合計	9,081	8,811
資産合計	9,004,989	9,092,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,019,337	1,813,691
短期借入金	81,415	450,367
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	20,441	20,467
リース債務	6,066	5,496
賞与引当金	57,586	48,593
工事損失引当金	37,759	—
未払法人税等	18,429	—
未成工事受入金	991,182	1,126,709
その他	316,592	320,802
流動負債合計	3,598,812	3,836,128
固定負債		
社債	375,000	375,000
長期借入金	823,525	818,793
リース債務	3,364	16,172
繰延税金負債	114,173	118,187
退職給付に係る負債	185,647	189,692
長期末払金	329,491	329,491
資産除去債務	16,382	15,268
その他	124,717	128,209
固定負債合計	1,972,301	1,990,815
負債合計	5,571,114	5,826,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	971,191	971,444
資本剰余金	890,715	890,968
利益剰余金	1,335,649	1,160,294
自己株式	△25	△25
株主資本合計	3,197,530	3,022,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,120	△5,726
為替換算調整勘定	△63,955	△63,920
その他の包括利益累計額合計	△76,076	△69,646
非支配株主持分	312,421	312,768
純資産合計	3,433,875	3,265,803
負債純資産合計	9,004,989	9,092,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	2,332,927	1,851,693
売上原価	2,097,160	1,760,059
売上総利益	235,767	91,633
販売費及び一般管理費	213,576	207,301
営業利益又は営業損失(△)	22,191	△115,668
営業外収益		
受取利息	2,026	697
為替差益	—	16,266
作業屑売却益	1,994	1,422
その他	2,159	1,811
営業外収益合計	6,180	20,197
営業外費用		
支払利息	6,390	7,579
為替差損	5,851	—
その他	1,566	1,558
営業外費用合計	13,807	9,137
経常利益又は経常損失(△)	14,564	△104,607
特別利益		
受取保険金	—	8,063
特別利益合計	—	8,063
特別損失		
固定資産除却損	—	4,982
災害による損失	—	8,165
特別損失合計	—	13,148
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	14,564	△109,692
法人税等	△5,906	△7,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,470	△102,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,174	470
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,296	△103,075

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,470	△102,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,757	6,393
為替換算調整勘定	10,589	△87
その他の包括利益合計	7,832	6,306
四半期包括利益	28,302	△96,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,438	△96,646
非支配株主に係る四半期包括利益	10,864	347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,487,204	813,064	32,658	2,332,927	—	2,332,927	—	2,332,927
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,060	16,385	12,663	34,108	118,650	152,758	△152,758	—
計	1,492,264	829,450	45,321	2,367,035	118,650	2,485,685	△152,758	2,332,927
セグメント利益 又は損失(△)	△5,954	13,818	28,472	36,336	△13,840	22,495	△304	22,191

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去152,758千円及び営業損益と営業外損益間の消去304千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,122,465	697,149	32,078	1,851,693	—	1,851,693	—	1,851,693
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,892	20,797	9,090	31,780	103,650	135,430	△135,430	—
計	1,124,357	717,947	41,168	1,883,473	103,650	1,987,123	△135,430	1,851,693
セグメント利益 又は損失(△)	△136,416	5,976	19,657	△110,781	△4,958	△115,740	71	△115,668

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去135,430千円及び営業損益と営業外損益間の消去71千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。